



いよいよ1学期の終了の日を迎えている頃ですが、おた2週間ほど先になります。  
きょうは「サマーパーティ」と銘うって年長児たちのお楽しみ会の日です。思い出づくりの一環として、5時間ほどのひとときをワクワクドキドキしていただきます。小樽から「万葉鏡」づくりの講師が来てくださったり、レストランの夕食を皆で食べたリ、スタンプ館にある「ウェルカムパーティ」を楽しみます。明日から4連休です。ご家族で楽しんでください。

■たかがなわとび、たかがさか立ちと言われますけど、心の育ちに役立っております。

最初は真似からよぼえたりはじめてました。先生の巧みな誘いに来て取り組みました。

なわとびは幼児期に30回出来たらOKとしてましたが、それを満足せず、100回まで行くようになりました。十分です！  
でも、これで満足しないので自由にさせていたと1000回を超えるようになりました。



体力と気力と精神力には頭が下がります。「神さま」と言われております。

さか立ちはカエルジャンプからはじめ、壁さか立ち、手ひき、横あるきと出来るようになったら壁なしのさか立ちに挑戦です。こ迄来るのに長い道のり

です。怖さのり越え挑戦します。柔らかい身体、転んでも大丈夫。

「出来た！立てた！」と喜んで自信を持ちはじめました。

壁なしで、2歩と3歩あるくだけで「さか立ち合格」です。でも、こどもたちのやる気は止まりません。5mあるけば「さか立ち名人」の目標をクリアして廊下からホールの壁まで行く☆を1個getです。

くせに涙汗を流し、努力の積み重ねの勳章です。しかし、こまでの「道のり」に意味があるのであって、仲間との励まし合い、やる気は自分の「根っこ」を育てております。

私たちの本音は「11と簡単にクリアして欲しくない」です。苦勞を重ねた子は他の苦勞が分かるんです。「思いやり」です。

(心の育ちシート)

## 子育ては親次第!!

2008年以降、我が国はスマホやタブレット端末が急速に普及し、子どもたちを何時どこへ何処へも無制限にインターネットに接続できるようになった。この状態をインフォメーション・コミュニティテクノロジー略してICTと言います。この事は、社会生活全般の利便性を高め革新的ツールとして活用されている……と言っているのは、日大医学部小児科教授 岡田知雄先生。次のように続けております。

その一方で、ICTの普及は子どもたちのあどむい人間関係、生活習慣の与える大きな変化をきたしている。子どもにおける弊害として、親子の絆からはじまる人と人との絆の形式に影響を与え、実社会での体験の機会を奪って、健やかな成長発達や社会性の形成を防げることはきわめて大きな問題です。ICTばかりではなく、テレビ・ビデオなど旧来のメディアを含めたメディアの有害性の科学的な証明を明らかにして、保護者や保育関係者に注意を呼びかけたい。

日本小児科学会は次のように提言をします。

- 2歳以下のこどもにはテレビ・ビデオを長時間見せないように。言語の発達が遅れる危険性があります。
- テレビはつけっぱなしにせず見たら消しましょう。
- 乳幼児にはテレビ・ビデオを一人で見せないようにしましょう。見る際は親と一緒に唄ったり、こどもの問いかけに答えましょう。
- 授乳中や食事中はテレビはつけないようにしましょう。
- 乳幼児にもテレビの適切な使い方を身に付けさせましょう。見たら消す！
- 子ども部屋にテレビ・ビデオは置かないようにしましょう。

親と一緒に見て、唄ったり内容について語り合っている家庭ではこどもの反応は活発です。しかし、長時間見ている子は有意語の出現が遅く、言語理解や社会性そして運動能力にも遅れが見られる。

**正しく！子育ては親次第です!!**